

## 「第2次安平町総合計画 中期基本計画(案)」に対する意見募集（パブリックコメント）の結果について

第2次安平町総合計画 中期基本計画（案）について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。意見募集の結果について、下記のとおり取りまとめましたので公表します。

1. 募集期間 令和元年11月5日（火）～令和元年11月25日（月）
2. 意見提出 2名 5件
3. 意見対応（スペースの都合上、提出いただきました意見については内容を割愛し概要を掲載しています。）
  - ① 意見を反映するもの又は既に反映しているもの 2件
  - ② 意見の一部を反映するもの 0件
  - ③ 今後の検討の参考とするもの 4件
  - ④ 質問・その他 0件

\*意見対応の分類は重複して分類しているため、意見提出件数と意見対応件数の総数は合致しません。

	関連する 政策分野等	意見等の要旨	分類	意見等の対応・考え方
1	政策分野Ⅰ 子育て教育  基本施策4 (追分高等学校)	介護事業所と連携し介護職の資格取得を目指していくとありますが、卒業生の進路を確認すると小売・流通業へ進んでいる生徒もいることから、提案として商工会議所が実施している販売士検定の取得も考えてみてはいかがでしょうか。 他の高等学校とは違う点として特徴をアピールできます。	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内唯一の高校である追分高等学校については、地域内の高等学校の存在が子育て世代の移住・定住先の選択要因の一つになることから、他の小規模校との差別化を図る取組みを検討しながら、学校存続及び入学希望者の確保に取り組んでいくこととしています。</li> <li>・いただいたご意見については、追分高等学校教育振興会を通じて、生徒の資格取得に係る費用の一部助成を行い、資格取得や検定について生徒の希望に応じて対応しており、引き続き支援を行うこととしています。</li> </ul>
2	政策分野Ⅲ 経済・産業  基本施策3 (産業振興・雇用就労) 基本施策4 (観光) 基本施策5 (商業)	<p>基本施策3（産業振興・雇用就労）、基本施策4（観光）、基本施策5（商業）の3項目は一体と言えるほど相互作用があり、観光の発展が商業の活性化と雇用拡大につながると考え、次のとおり提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の魅力を味わうには自転車最適であり、欧米人は観光ツアーにより自転車を好む傾向にあるため、追分駅前で貸出を行うこと。</li> <li>・新千歳空港が至近にあり、冬の北海道を満喫してもらうインバウンド対策として、広告が重要なこと。</li> <li>・宿泊者の収容数の不足解消と地元高校生の就職機会を増やすこと。</li> <li>・ペットと訪れることができる体制を確保すること。</li> </ul>	① ・ ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見のとおり、産業振興や雇用就労、商業や観光施策については、関係性が深く、一体的かつ総合的に政策展開を図っていく必要があると認識しており、道の駅を拠点として町内への交流人口を増大させながら、この人の流れを商業活性化や賑わいづくりにつなげていくこととしています。</li> <li>・また、町内の観光資源や拠点をつなぎ、町内全体の回遊を促す仕組みの構築を目指しており、交流拠点をレンタサイクルや馬などをキーワードにつなぐ取組みの検討を行うとともに、空港や札幌圏から至近にあるという地理的優位性を活かした外国人観光客対応に向けて取り組むこととしています。</li> <li>・いただいたご意見は、今後の取組み検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>

	関連する政策分野等	意見等の要旨	分類	意見等の対応・考え方
3	政策分野Ⅱ 人づくり・コミュニティ 基本施策4 (芸術・文化)  政策分野Ⅲ 経済・産業 基本施策4 (観光)	道の駅の開業に伴い、追分駅裏にある旧鉄道資料館が利用されていない状況になりつつあることから、次のとおり提案します。 ・安平町のシンボルでもある馬を活かした展示や乗馬が出来るようにすることで、観光スポットにすること。 ・チーズ職人養成所、鉄道マン養成所とすることで、本州からの移住に期待すること。	③	・現在の安平町鉄道資料館は、道の駅に併設して設置しています。追分駅裏にある施設（追分白樺2丁目）については、現在、「鉄道資料館保管庫」として利用し、鉄道車両や貴重な鉄道資料を保管しています。今後は、学芸員や鉄道関係団体と連携して鉄道資料の整理を行いながら、鉄道文化の継承や魅力発信につなげていくこととしています。 ・ご意見にもあるとおり、安平町の地域資源である馬、チーズ、鉄道なども活用しながら、町内の観光資源や拠点をつなぎ、町内全体を回遊させる取組みを促進させていくこととしています。
4	政策分野Ⅴ 生活環境・生活基盤 基本施策7 (地域公共交通)	J R室蘭線の活用推進として、次のとおり提案します。 ・近郊都市や沿線自治体と連携し、全国の鉄道ファンが訪れて乗りやすくなる鉄道区間とすること。 ・道の駅に展示しているSL車両等を復活させて、通常運行や観光運行とさせ、多くの観光客が利用できるよう関係する民間事業者と協議すること。	③	・J R室蘭線については、平成28年11月にJR北海道が公表した「JR単独では維持困難な線区」の一つに位置づけられていますが、住民生活に密着した欠かせない「私たちの鉄道」という意識醸成を図り、鉄道路線の維持存続を最優先に対応していくこととしています。 ・室蘭線にSLや旧型特急車両を運行させてはということですが、室蘭線沿線自治体とも連携しながら、北海道が実施する地域密着型観光列車のモニターツアーに協力していくなど、室蘭線の利用者増に向けた取組みを検討していきたいと考えています。
5	政策分野Ⅴ 生活環境・生活基盤 基本施策6 (移住・定住対策) 基本施策7 (地域公共交通)	追分から札幌間については、普通列車が少なく鉄道での通勤や通学が難しいです。 そのため、追分から札幌方面のシャトルバスを運行させることで、移住しやすい町になると考えます。	③	・当町の公共交通には、鉄道・ハイヤーなど民間事業者による交通機関のほか、商工会が事業主体となっているデマンドバス、町が運行している循環バスがあり、安平町地域公共交通網形成計画に基づき、地域公共交通全体の役割分担と連携により共存を図りながら、利便性の向上と利用促進に努めていくこととしています。 ・追分～札幌方面にシャトルバスをとのことでありますが、町外への移動につきましては、石勝線や室蘭線などの鉄道を利用し、多くの学生が通学している現状等もあり、いまある交通体系を維持していくためにも、引き続きJRを含めた公共交通の利用促進に努めていきたいと考えています。